

『心に残る文化財こども塾』学習指導案

日 時：令和6年7月5日（金）

10：40～11：25

場 所：松江市立意東小学校 体育館

対象者：6年生35名

指導者：先生1名 越智先生

講師2名 橋本

榊原

1. 主 題 奈良時代の意東小学校周辺と奈良の大仏

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに込められた先人の思いについても触れる。
- ・自分たちの地域の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
①講師紹介と本時の流れを確認する（2分）	・担任が担当。 ・見通しをもって本時の学習ができるようにする。
②奈良時代の意東小周辺について（10分） ○奈良の大仏や、大仏が作られた頃の意東小周辺地域についての説明を聞く	・講師が担当 ・パワーポイント使用し、視覚的にイメージしやすいよう工夫する。
③大仏パネルの組み立て体験（13分） ○大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ○1m四方の部品のパネルをパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。	・大仏パネル組み立て時には、靴を脱ぐ。 ・児童が協力して作業する。 ・完成後に体育館の2階から完成状況を確認。
④写真撮影・まとめ（10分） ○学習の振り返り	・写真撮影 ・児童に感想を述べてもらう。
⑤片付け（10分）	・手分けしてパネルを片付ける

4. 準備物

小学校：プロジェクター、スクリーン、カメラ

講 師：PC、大仏パネル、パワポデータ、アンケート、カメラ

5. その他

- ・9：45 講師の方、来校
- ・9：55 大仏パネル準備